

# しえいくはんす

No.29 2007(平成19)年10月20日

発行 調布市男女共同参画推進センター

〒182-0022 東京都調布市国領町2-5-15 調布市市民プラザあくろす3階 ☎ 042-443-1213  
fax 042-443-1212 メール danjyo@w2.city.chofu.tokyo.jp ホームページ <http://chofu-danjyo.jp/>

## Special Topics

## 一選択の時代—結婚

私たち、人とかかわりを持たずに生きていいくとは難しく、だからこそ互いを認め、尊重しあうことが大切です。中でも、結婚は人と人が深いかかわりを持って、しかも生活を送っていくことを意味します。

「結婚して一人前」といわれていた時代から、「結婚すれば幸せになれるとは限らない」「結婚する・しないは個人が自由に決める」と「結婚の形は自分で選びたい」などの様々なライフスタイルを選択できる時代になりました。そのような自由な時代になったにもかかわらず「非婚化」や「晩婚化」、「未婚化」が取りざたされるのはなぜなのでしょうか。

### 本当に「結婚したくない人」が増えているのか?

これまでに、非婚・晩婚・未婚化の要因として、様々な理由が言られてきました。女性の社会進出によつて、経済的に自立することができ、理想的な相手が見つかるまでは結婚しない。

仕事と両立が難しい。

専業主婦を希望する女性も多いが、正社員ではない雇用形態が増加している中で、男性の経済力への不安からそのためり。両親の経済力・家事力に頼り、快適な生活を送るいわゆるパパ活サイトシングルにとって、結婚が魅力的に映らないなどなど。

しかし、平成18年発表の「第13回出生動向基本調査」(国立社会保障・人口問題研究所)によると、非婚・晩婚・未婚化が指摘されている現在でも、一生結婚しない

と決めている人は、女性が5.6%、男性が7.1%にすぎません。「結婚したく」と思つている若者は減つてはいないようですが。

本当の理由はどうなのでしょうか。

平成17年3月「少子化に関する意識調査報告書」(厚生労働省)では結婚したい人が結婚しない理由として、男女ともに60%近く人が「適当な相手にめぐり合わない」と答えています。

若者達の出会いのきっかけに変化があつたのでしょうか。

戦前には約70%を占めていた見合い結婚は、約6%に減少し、15%以下だった恋愛結婚が90%近くに増えています。恋愛結婚での出会いは、「友人・兄弟姉妹を通じて」、「職場や仕事で」が多く、日常的な場での出会いがきづかげとなっています。周囲が認め決めた結婚から自分自身で選択する結婚へと変化していくのがわかります。

### 結婚の形の多様化

欧米の場合、結婚といふ制度の枠内に入らずに共生し、子どもを産み育てるカップルも数多くいます。

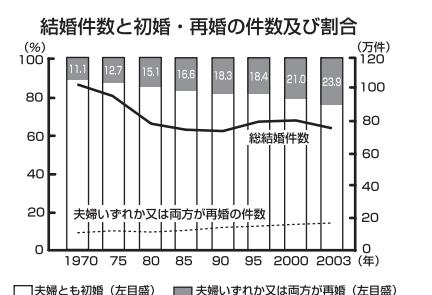
日本では、出生の多くが婚姻の届出をした夫婦によるものとなっています。制度の中に入らずに子どもを持つと不利益を受けうることもあるからです。結婚という形に「だわつていなかつた二人が、子どもができたことをきっかけに結婚をする「できたら婚」という言葉にも表れています。

婚姻届は出さず、事实上の結婚生活を送ることを選ぶ人たちも多くなっています。結婚後も支障なく仕事をするために、生来の姓を使い続ける女性が現れるなど意識が変化したことにより、これからもますます、結婚の考え方・形が多様化し、自分にあったライフスタイルを選んでいく時代になつていくものとさえられます。



# 最近の結婚

結婚するカップルは増えている？



□夫婦とも初婚(左目盛) ■夫婦いずれか又は両方が再婚(右目盛)  
△結婚件数(総数)(右目盛) △夫婦いずれか又は両方が再婚の件数(右目盛)

【厚生労働省 人口動態統計月報(概数)】

「結婚」を統計などの数字で見ていきましょう。

厚生労働省が平成19年6月に発表した「平成18年人口動態統計月報(概数)の概況」によれば、平成18年の婚姻件数は前年より1万6708組増え、73万973組となっています。平成14年から4年連続で減少していた件数が、5年ぶりに増加に転じましたが、今後とも増加し続けるかどうかはわかりません。一方、再婚の割合は、夫が18.8%、妻が16.3%となり、わずかずつですが年々増加しています。

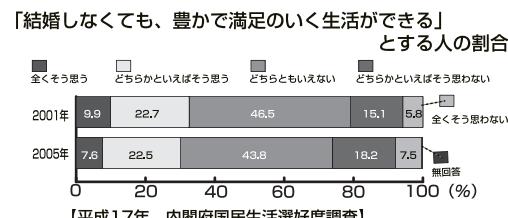
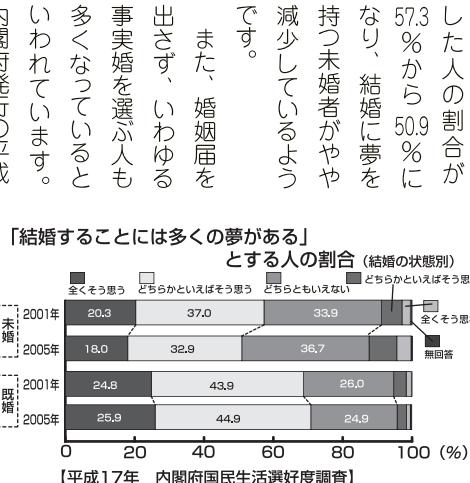
平均初婚年齢については、平成18年に夫が30歳、妻が28.2歳となり、平成13年からの5年間で1歳上昇しています。ちなみに、都道府県別の平均初婚年齢が最も高いのが夫31.3歳、妻29.3歳の東京都です。

## 「結婚」に抱く思い・考え方

内閣府が平成17年に「発表した国民生活選好度調査」(2000年実施)で、「結婚しなくても、豊かで満足のいく生活ができるか」と尋ねたところ、「どちらとも言えない」と回答した人の割合が半分近くを占め、「やう思わない」と回答した人の割合は30.1%でした。

また、同じ調査で、「結婚する」とには多くの夢があるかどうか」を尋ねたところ、「思う」と回答した人の割合が25.7%を上回っています。

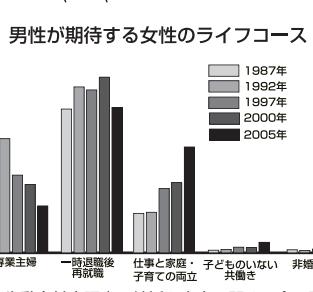
2001年の調査と比較すると、未婚で「思う」と回答した人の割合が65.8%でした。2001年の調査と比較すると、未婚で「思う」と回答した人の割合が57.3%から50.9%に減少しているようです。



## 結婚、これからは…

国立社会保障・人口問題研究所が行った「第13回出生動向基本調査—結婚と出産に関する全国調査」(2000年実施)によるところ、未婚の女性が理想とするライフコースと、実際になりそぞうだと考えるライフコースでは、いずれも「結婚し子どもを持ち、仕事も一生続ける」両立コースを選ぶ人が増加しました。未婚の男性が、パートナーとなる女性に期待する女性のライフコースとして、「専業主婦」「時退職後育児支援」「仕事と家庭・子どもとの両立」「非婚・就業」などを行なうことがあります。しかし、これらは、結婚しなければならないことにも取り組めるようないいことにも取り組むを作っていく大切さに気づいたからなのでしょう。

「今後は、結婚するかしないか、するかしないか、子どものをいつ何人持つか持たないか、仕事と育てや介護とのバランスをどうするかなどについて、希望するライフスタイルを選び、自分らしく納得した人生を送ることが容易にならなくていいのではないか。また、そうしていきたいものです。



17年版「国民生活白書」の事実婚カップルに対する調査結果によると、「婚姻届を出さない理由」として、女性は「夫婦別姓を通じたため」「プライバシーなど」となので国に届ける必要を感じない」「夫は仕事、妻は家事」という性別役割分担から解放されやすい

などを挙げる割合が高い、男性で注目すべきは「相手の非婚の生き方の尊重」を挙げる割合が高いことです。また、「家庭の生活費」は、「男女同じくらい負担する」と答える割合が最も高く、事実婚を選ぶ女性の経済力を反映しているようです。結婚は、「するのが当たり前」だった時代から「誰とするかはどちらか、するかどうかを選択する」時代へ移り変わり、結婚への思いも形も様々です。

「仕事も家庭も大切にしたい」という男性の声や「仕事を辞めずに夫とともに子供を育てたい」という女性の声に呼応するように、最近、マスクや企業、行政などが、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の必要について盛んに取り上げるようになりました。仕事の責任を果たしながら、なにかがえます。男女ともに第1が「相手の人柄」、第2は「家事・育児に対する理解と協力」となっています。男性も女性も、結婚して仕事も子育てもしたいと考える人が増えているといふことはないでしょうか。

知つておきたい

# 結婚に関する法律の知識

A 離婚は認められていいのでしょうか？

性が合わないなどの理由で、共同生活が続けられないとき離婚を選択する人がいますが、離婚は憲法でも認めています。どちらかが離婚したくない場合には、調停・裁判をすることもありますが、話し合いでによる協議離婚が多いです。

Q 結婚と婚姻ってちがうの？

A わが国の結婚とは、「男女が夫婦になる」と指します。婚姻は、結婚と同じ意味ですが、法律上の用語として使われています。

婚姻は、憲法の条文で「男女平等」を基本として「両性（男女）の合意」のみで成立するにあり、役所に婚姻届を提出することによって法的に認められます。

その際、夫か妻かどちらかの姓を選択し、二人の姓として届けます。いざわらの姓を自由に選んでよいのですが、夫の姓が多いのが現状です。婚姻届を出すと、二人の新しい戸籍が作られます。選んだ姓を名乗つていた者が戸籍の筆頭者になります。

Q 婚姻って、いつでもできるの？

A 男性18歳以上・女性16歳以上で、未成年者は父母の同意が必要です。また、女性だけに再婚禁止期間（離婚後など6か月）があります。

Q 結婚式を挙げただけで婚姻届を出さないといどうなるの？

A 事実上の婚姻状態にあることから「事実婚」といいます。「内縁」と同じ意味で、「同棲」を含める考え方もあります。法的には財産などの相続ができないし、納税のときに配偶者控除を受けられません。

子は、婚外子（非嫡出子）になり、母の戸籍に入るために、母の姓を名乗り、親権は母

Q 離婚したら何が変わるの？

A 離婚するためには、離婚届を役所に提出する必要があります。戸籍の筆頭者でなかつた者は旧姓に戻るが、婚姻中の姓を使い続けるか選択し、新たな戸籍を単独作るか、親の戸籍に戻ります。

子がいる場合には、どちらが親権者になるかを決めます。新たな戸籍をつくる者が、親権者として、子と同じ戸籍にするためには、家庭裁判所での手続きが必要です。

Q 「300日問題」ってなんですか？

A 民法に「…婚姻の解消若しくは取消の日から300日以内に生まれた子は、婚姻中に懐胎（妊娠）したものと推定する。」という規定があり、出産が早まつた場合など不利益を被ることがあります。そこで、平成19年5月に出された法務省の通達により、離婚後300日以内に生まれた子であっても、離婚後の懐胎であるという医師の証明書を添付すれば、婚姻していったときの夫を父としない出生届を提出

すことが認められるようになりました。（再婚していればその夫の子として、していないければ婚外子として届けることになります。）

にあります。

column

## パパは輝いていた



「料理もしたかった男の子たち」や、「口曜大工仕事にも興味のあった女の子たち」が大人になつて世の中を変えてきたのもしれません。

個人としての選択の自由が広がり、人生における価値観が多様になっていく中、結婚にまつわる法律や制度についてどう考えますか。結婚にまつわる法律が制定されたのに意味があります。それでも、制度によりない結婚を選択する人が増えていくのはなぜでしょう。その意味を知ることなく法律によらない結婚を選んだ場合、その結果を受け止めいかなければならない人やその友だちとの旅行を楽しみ、彼女とのデートや事や趣味に没頭したり、彼女とのデートや友だちとの旅行を楽しみ、自分のためだけの毎日を生き生きと過ごしていたにちがいありません。

彼はいつも、どつこいきのかけで、背におぶつている赤ちゃんのお母さんと出会い、お父さんになつたのかじりと想像します。今ある法律によらない選択をして、その責任を受け止めていくことができる人には受け止めいかなければならない人やその影響を受ける人たちは誰でしょうか。

高度成長期までは、年少になると、制度に則った結婚をし、男性は外で働き、女性は家で家事を担い、子どもが授かれば子育てをするというのが一般的な日本の家庭の姿でした。その子どもたちの通う学校での技術・家庭の授業は、男女別々に行われ、男子はお米のときかたを習ひはしなかつた

し、女子は椅子を工作するときの安全な釘の打ち方を習ひことはなかったのです。男性の役割と女性の役割が、その人一人ひとりのやりたいことや意志などと関係なく決まっていました。時代が進むにつれて、時代とともに、社会が大きく変わったからです。

気がつけば保育園の送迎にお父さんの姿がある」とは、自然になつてきました。女性が社会で働くことや男性が子育てをすることが、その人たちの自由な意志で選べるようになつてきました。うか。

子は、婚外子（非嫡出子）になり、母の戸籍に入るために、母の姓を名乗り、親権は母

ります。

いまは男女とも一緒に技術・家庭を学びます。一緒に歩ぶ」とのできなかつた日の

大好きな人たちと一緒に毎日を送るために、結婚との法律についても一緒に振り返してみてください。



## 本の紹介

**結婚の法律学 [第2版]**  
棚村政行著 有斐閣 (2006年)



今日の価値観の多様化は、結婚観についても例外ではなく、様々な結婚の形が生まれています。その中には、「しない」という選択もあります。つまり、結婚とは、誰もが人生の中で、一度はどしきべきかを考えるものだといえます。法律に基づいた結婚をすれば、国や社会の保障などメリットがありますが、一人が幸せならばそれだけでいいという当事者間の問題と考えることもできます。

本書では、結婚や夫婦関係をめぐる法のしくみが、わかりやすく解説されています。また、「届出をしない夫婦」や「国際結婚」、「高齢者の結婚」など、いろいろな生き方や新しい結婚の形を法がどのように保護するべきか、その問題の所在や方向性を探求しているので、よりよい自分のスタイルを選択する一助となるでしょう。

結婚や家族について考えるとき、まずは本書を手に取ってみてはいかがでしょうか。

**シングルつていいかも 女ひとりで想つこと** 岸本葉子編 光文社 (2006年)



「シンガル」とひとと聞いただけでもその形は様々

キヤリアとして第一線で活躍してつくるシングル、「一人で子どもを生み育てるシングル」、また、年を重ねてからのシングルなど…この本に登場する17通りのシングルの共通点は、自立した、成熟した大人であることです。ひとつひとつの事柄をしっかりと見て、けつして妥協を許さない強いじだわりを持ち、そして「今」を楽しむ、ユーモアを持って生きているシングルの姿を感じ取れます。日常生活から、小さな幸せを見つけて頑張つてみようと思わせる一冊です。

**結婚願望**  
山本文緒著 角川書店 (2003年)



「どうして、人は結婚したいのか。世界中のほとんど人が結婚してるから?恋愛とどう不安定な関係から、社会的な安定した関係になりたいから。結婚とは、能力ではなく人格が選ばれることが、だから結婚したいと言われる」と嬉しい。「恋愛中毒」の著者が、結婚・離婚を経て、一人で生きていく覚悟を決めたことに書いて、(ちなみに)二年後に再婚いたしますが…)

消えそうで消えない結婚願望や、恋愛と結婚、一人で生きていいくことについて、自分の心に耳を傾け素直に語っています。

あまりにホンネで、ちょっと耳に痛いところもあるかもしませんが、結婚したいと思うとき、結婚しようと思いつとき、ひとりがいなと思うとき、もう一度自分自身を見つめ、人生について考えたいときに読みたい一冊です。

## 講座の一案内

あくろすカレッジ男女共同参画  
「世界を知れば日本がもっとわかる  
♪結婚・家族・女性の働き方」(全6回)

私たちと同じときを過ごしている様々な国の人々の結婚・家族・女性の働き方を知り、私たちの生きかたや向かっている方向について考えてみませんか。

駿渓トロバカイ氏  
(希望の学校)代表  
開発途上国女子教育協力センター客員准教授)

「女性たちへー、「あなたには学ぶ権利がある」アフガニスタンは今

「専門家」としての主婦  
石川康子氏  
(明治大学講師)

「知らないようで知らぬ  
「アメリカの社会・家庭・女性」  
江上幸子氏  
(エリス女学院大学教授)

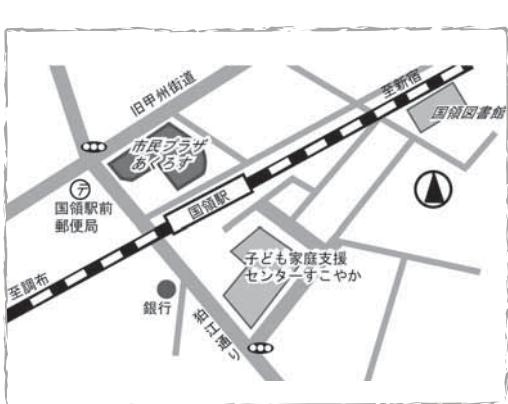
「中国の元気な女性たち  
「フランス女性の過去・現在・未来  
近代化の中で  
平等の進展と多様な家族」  
植野妙実子氏  
(中央大学教授)

「女性たちへー、「あなたには学ぶ権利がある」アフガニスタンは今  
駿渓トロバカイ氏  
(希望の学校)代表  
開発途上国女子教育協力センター客員准教授)

## 調布市男女共同参画 推進センター

調布市男女共同参画推進センターは、調布市男女共同参画推進プランに基づき、男女共同参画社会を実現するため、講座・講演会の開催、相談事業、情報収集発信事業、市民活動支援事業を行っております。

最寄駅…京王線国領駅北口徒歩1分  
※車でお越しの場合は、「クティーオー駐車場(有料)」をご利用いただけます。  
※自転車でお越しの場合は、国領駅北駐輪場をご利用いただけます。  
daniyo @ w2.city.chofu.tokyo.jp  
http://chofu-daniyo.jp/



〒182-0022 調布市国領町 2-5-15  
調布市市民プラザあくろす 3階



古紙パルプ配合率 100%再生紙を使用